

平成26年 厚木基地に関する主なできごと

月 日	内 容
1月10日	<p>平成26年1月9日、第5空母航空団所属のF A18Eスーパーホーネットが綾瀬市内に部品を落下し、車両等を破損させる事故が発生しました。このことに対し、1月10日に神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）で在日米海軍司令部、在日米海軍厚木航空施設、外務省及び防衛省に対して要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容 (1) 今回の事故の原因を早急に究明し、実効性のある再発防止策を確立すること。また、これらについて速やかに公表するとともに、安全性が確認されるまでは、同機種の飛行を中止すること。 (2) 航空機の整備点検などを確実に実施して、航空機の徹底した安全管理を行い、事故の再発防止に努めること。</p> <p>2 要請結果 【在日米海軍司令部回答】 <input type="radio"/> 今回の事故で市民のみなさんに不安を与えたことは非常に残念である。 <input type="radio"/> みなさんのご心配はしっかりと受け止めた。事故原因等、情報はしっかりと伝える。 <input type="radio"/> 今回の事故を受け、すぐに原因調査を行い、適切な対応を取っている。また、通常も安全性が保てるようメンテナンスを通して確認し、飛行をしている。</p> <p>【在日米海軍厚木航空施設回答】 <input type="radio"/> 昨日の事故により、各市のみなさんに不安を抱かせ、ご迷惑をおかけしたことを遺憾に思っている。事故を起こしたことは大変遺憾である。 <input type="radio"/> 現在、経験を積んだスタッフによって、漏れのない安全検査を行っている。 <input type="radio"/> 同型の飛行機は飛行停止をしており安全面で問題ないと判断されない限り飛行しない。 <input type="radio"/> 原因究明には徹底した調査が必要だが、結果が分かり次第、情報提供する。</p> <p>【外務省回答】 <input type="radio"/> 部品の落下は重大な事故であり、非常に遺憾である。 <input type="radio"/> 昨日、米側に対して遺憾の意を表するとともに、原因究明と再発防止について、申入れを行った。 <input type="radio"/> 原因究明が進むにつれ、米側から提供される情報については自治体にも提供してまいりたい。 <input type="radio"/> 今回のことはきちんと受け止め、省内で共有し、安全性の最大限の確保を米側に働きかけていきたい。</p> <p>【防衛省回答】 <input type="radio"/> 2年前の部品落下、昨年12月のヘリコプターの不時着、そして今回の部品落下と事故が続けざまに起きており、国としても残念である。 <input type="radio"/> 昨日、防衛省として在日米軍副司令官や在日米海軍司令官に原因究明と再発防止を要請し、本日、南関東防衛局長が厚木基地に出向き、司令官に二度とこのようなことのないよう申し入れている。 <input type="radio"/> 原因究明を要請しているので、情報が提供され次第お知らせする。</p>
1月14日	<p>平成26年1月12日、米兵が座間市内のマンションのベランダに侵入した事件に続き、1月14日にも横須賀市内の民家物置に侵入する事件が発生しました。このため、1月14日に神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）で、当該住居侵入事件の発生に対して、今後の対応と再発防止の要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容 (1) 米軍人等への教育訓練の徹底、厳正なる綱紀粛正及び事件の再発防止に努めること。</p> <p>2 要請結果 【在日米海軍司令部回答】 <input type="radio"/> 上司に伝える。</p> <p>【南関東防衛局回答】 <input type="radio"/> 皆様の要請内容については受け止める。 <input type="radio"/> 規律保持、服従管理の徹底、再発防止等について米軍に強く働きかける。</p>
1月15日	<p>平成26年1月15日午後1時頃、外務省日米地位協定室長から神奈川県政策局長に米空母ジョージ・ワシントンの交替について通報があり、本件について以下のとおり神奈川県基地対策課から市に対して情報提供がありました。</p> <p>通報要旨 <input type="radio"/> 今般、米国政府から、空母「ジョージ・ワシントン」が燃料交換のために横須賀を離れ米国へ移動し、代わりに空母「ロナルド・レーガン」が横須賀に前方展開することが決定された旨通報があった。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空母「ロナルド・レーガン」は「ジョージ・ワシントン」と同じニミッツ級の空母である。なお、空母「ロナルド・レーガン」は、東日本大震災の際にトモダチ作戦に従事した艦船である。 ○ 今回の交替にあたり、港の施設には変更は必要とされない。配備済みの航空団に変更はなく、引き続き第5空母航空団が前方展開の任を担う。 ○ 乗組員をはじめとする関係する米軍人の人数に大きな変動はない。 ○ 2015年後半に、空母「ジョージ・ワシントン」は横須賀を離れ、空母「ロナルド・レーガン」が横須賀に入港する予定であると承知している。
4月25日	<p>空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練を実施する旨の通告が、防衛省南関東防衛局から次のとおりありました。</p> <p>1 硫黄島（東京都小笠原村）における着陸訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 訓練期間 5月5日（月）から5月16日（金）まで (2) 訓練時間 午前11時から翌日午前3時まで (3) 訓練機種 空母ジョージ・ワシントン艦載固定翼機全機種（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A） <p>2 なお、硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部または全部の飛行場において訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 厚木飛行場 <ul style="list-style-type: none"> ア 訓練期間 5月12日（月）から5月16日（金）まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで (2) 三沢飛行場及び岩国飛行場 <ul style="list-style-type: none"> ア 訓練期間 5月13日（火）から5月16日（金）まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで <p>※硫黄島から変更した飛行場であっても、天候又は航空機の整備問題など不測の事態が生じ所要の訓練を実施できない場合には、上記の日時が変更となる可能性があります。</p> <p>3 防衛省としては、可能な限り硫黄島で訓練を実施するよう申し入れます。</p>
4月28日	<p>空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について、神奈川県知事及び厚木基地周辺9市（海老名市、大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、横浜市、町田市）長の連名で防衛大臣宛、次のとおり要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4月25日、防衛省から、空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について通告があった。平成25年6月の着陸訓練に引き続き、今回の訓練に係る通告も、天候等の事情がない限り、厚木基地では着陸訓練を実施しないとの内容であり、厚木基地の騒音の軽減に配慮がされたものと考えます。 (2) しかし、依然として、硫黄島において所要の訓練が実施されない場合には、厚木基地においてジェット機を含む全機種の訓練が行われる可能性があり、これは、着陸訓練の厚木基地からの全面移転を強く求めてきた厚木基地周辺住民の願いに反するものである。 (3) 日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮し、訓練環境の準備等に万全を期し、すべての訓練が硫黄島で実施されることを確実にするよう、強く求める。 <p>2 要請先及び要請結果</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 県基地対策部長及び基地周辺9市の基地対策担当課長等が、防衛大臣宛の要請書を南関東防衛局に持参。 <p>【南関東防衛局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の着陸訓練に係る米軍の通知を受け、可能な限り硫黄島で訓練を実施するよう、また訓練後の厚木基地周辺での空母艦載機の飛行については、行事等に配慮するとともに深夜に至らないよう、防衛省としても既に在日米軍司令部及び在日米海軍司令部に対して要請している。 ○ 本日の地元自治体からの要請についても、改めて米軍にもしっかりと伝えていく。 ○ 厚木基地周辺の騒音軽減対策について、引き続き取り組んでまいりたい。
5月1日	<p>空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について、いかなる場合であっても全ての訓練が硫黄島で実施されるよう、海老名市長から米海軍厚木航空施設司令官に口頭要請を行いました。</p>
5月7日	<p>硫黄島における空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について、運用上の理由により訓練期間を変更する旨の通告が以下のとおり南関東防衛局からありました。</p> <p>1 着陸訓練概要</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 訓練期間 5月8日（木）から5月19日（月） (2) 訓練時間 午前11時から翌日午前3時まで (3) 訓練機種 空母ジョージ・ワシントン艦載固定翼機全機種（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A） <p>2 なお、硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部又は全部の飛行場において訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 厚木飛行場

	<p>ア 訓練期間 5月15日(木)から5月19日(月)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで (2) 三沢飛行場及び岩国飛行場 ア 訓練期間 5月16日(金)から5月19日(月)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで ※上記の日時は、天候や航空機の整備等の事情から変更される可能性があります。</p>
5月14日	<p>硫黄島における空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について、運用上の理由により訓練期間を変更する旨の通告が以下のとおり南関東防衛局からありました。</p> <p>1 着陸訓練概要 (1) 訓練期間 5月8日(木)から5月20日(火) (2) 訓練時間 午前11時から翌日午前3時まで (3) 訓練機種 空母ジョージ・ワシントン艦載固定翼機全機種 (FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A)</p> <p>2 なお、硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部又は全部の飛行場において訓練を実施します。 (1) 厚木飛行場 ア 訓練期間 5月16日(金)から5月20日(火)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで (2) 三沢飛行場及び岩国飛行場 ア 訓練期間 5月17日(土)から5月20日(火)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで ※上記の日時は、天候や航空機の整備等の事情から変更される可能性があります。</p>
5月19日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ジョージ・ワシントンが5月19日(月)午後3時22分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
5月23日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ジョージ・ワシントンが5月23日(金)午前8時40分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
5月24日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ジョージ・ワシントンが5月24日(土)午前11時45分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
5月27日	<p>5月25日及び5月26日の深夜時間帯に米空母ジョージ・ワシントン艦載機が飛行したことを受け、5月27日に神奈川県及び厚木基地周辺9市(海老名市、大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、横浜市、町田市)を代表し、神奈川県政策局基地対策部基地対策課長が南関東防衛局地方調整課長に対して口頭要請を行いました。</p> <p>1 要請内容 (1) 5月25日及び5月26日の深夜時間帯に発生した空母ジョージ・ワシントン艦載機によると思われる騒音のため、厚木飛行場周辺の多くの住民が、睡眠妨害をはじめとする耐え難い苦痛を強いられた。 (2) こうした深夜飛行については、極めて遺憾であり、今後は深夜飛行を行わないよう、強く米側に申し入れるよう要請する。</p> <p>2 要請結果 【南関東防衛局回答】 ○ 厚木飛行場周辺住民にとって、深夜の騒音被害は深刻なものと認識している。 ○ 米側に対し、可能な限り、住民への影響が縮小されるよう求めていく。</p>
7月11日	<p>MV-22 オスプレイの厚木基地への飛来について、神奈川県基地関係県市連絡協議会(※)、茅ヶ崎市及び東京都町田市で、防衛省に対して要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容 (1) オスプレイが厚木基地に飛来する場合は、未だ多くの住民の不安が払拭されていないことを十分認識し、国の責任において、自治体や住民に対して丁寧かつ具体的な説明を行うこと。 (2) これまで、自治体や住民が負ってきた基地負担の実情を十分認識し、これ以上の負担が生じないように、地元が納得できる対応を行うこと。</p> <p>2 要請結果 【南関東防衛局回答】 ○ 米軍の運用の詳細に関わる情報の提供、特に事前の情報提供については、困難な面があるが、引き続き、速やかな情報提供に努めていきたい。 ○ 厚木飛行場周辺の航空機騒音については非常に深刻な問題であると認識しており、これ以上の負担が生じないように努めていきたい。 ※神奈川県基地関係県市連絡協議会：県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市</p>

7月15日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より以下のとおり情報提供がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月15日15時26分 MV-22 オスプレイが厚木基地に着陸。 ○ 7月15日16時30分 MV-22 オスプレイが厚木基地を離陸。
7月16日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課から、現在、キャンプ富士に駐機しているMV-22 オスプレイについて以下のとおり情報提供がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月18日、MV-22 オスプレイ1機が、補給のため、厚木飛行場に立ち寄る可能性がある。
7月17日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課から、現在、キャンプ富士に駐機しているMV-22 オスプレイについて以下のとおり情報提供がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャンプ富士に飛来しているオスプレイ1機が厚木飛行場に向け離陸するのは、7月18日午前中となる見込みである。
7月18日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より以下のとおり情報提供がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月18日11時18分 MV-22 オスプレイが厚木基地に着陸。 ○ 7月18日12時47分 MV-22 オスプレイが厚木基地を離陸。
7月23日	<p>平成26年1月9日に綾瀬市で発生した米海軍航空機F A18E スーパーホーネットからの部品落下事故について、米側から日本側に対して調査結果についての情報提供があり、南関東防衛局から神奈川県基地関係県市連絡協議会に説明があったため、当協議会として記者発表を行いました。</p> <p>1 情報提供の概要</p> <p>【事故調査の結果】</p> <p>(1) 事故原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主脚のローター・ドライブ・キー（ローターと車輪組立て部品を調節するための部品＝車輪にブレーキの力を伝えるための部品）組立て部品の設計上の不具合が原因で、ローター・キーが緩むに至った。 <p>(2) 再発防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設計上の不具合を恒久的に是正するため、技術変更提案（より確実にネジとナットを締め付けるため、溝をローター・ドライブ・キーの表面に追加すること、また、それぞれのローター・ドライブ・キーを取り替える際、新しい留め具が取り付けられること）を提出。 ○ 当該提案が承認され、その変更が完全に実施されるまでの間、以下の手続きを実施。 ○ 飛行隊航空機整備部は、車輪組立て部品を取り付けるのに先立ち、ローター・ドライブ・キーの取り付けについて完全性／安全性の検査を実施し、整備記録に適切に記録することを確実に行う。（いわゆる飛行隊レベルの整備） ○ 航空機中間整備分遣隊は、ローター・ドライブ・キーの交換に関係する全ての留め具部品を継続的に取替え。（いわゆる中級レベルの整備） <p>2 対応</p> <p>神奈川県基地関係県市連絡協議会として、改めて、航空機の徹底した安全管理を行い、事故の再発防止に努めるよう求めた。</p> <p>※神奈川県基地関係県市連絡協議会：県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市</p>
8月1日	<p>MV-22 オスプレイの厚木基地への飛来について、神奈川県基地関係県市連絡協議会（※）、茅ヶ崎市及び東京都町田市で、防衛省に対して要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <p>(1) オスプレイについては、未だ多くの住民の不安が払拭されていないことを十分認識し、国の責任において、早急に自治体や住民に対して丁寧かつ具体的な説明を行うこと。</p> <p>(2) これまで、自治体や住民が負ってきた基地負担の実情を十分認識し、オスプレイの飛来により、これ以上の負担が生じないよう、地元が納得できる対応を行うこと。</p> <p>(3) 仮にオスプレイが厚木基地に飛来する場合には、国の責任において、記者発表を行い、ホームページに掲載するなど、住民に対し適時適切に情報提供すること。</p> <p>2 要請結果</p> <p>【南関東防衛局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 米軍の運用の詳細に関わる情報の提供、特に事前の情報提供については、困難な面があるが、引き続き、地元自治体に対し、速やかな情報提供に努めていきたい。 ○ 厚木飛行場周辺の航空機騒音については非常に深刻な問題であると認識しており、引き続き、負担軽減が図られるよう努力したい。 <p>※神奈川県基地関係県市連絡協議会：県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市</p>
8月8日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ジョージ・ワシントンが8月8日（金）午前8時35分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
8月18日	<p>MV-22 オスプレイの厚木基地への飛来に関する情報については神奈川県政策局基地対策部基地対策課から提供される</p>

	<p>こととなりました。今後の情報については神奈川県ホームページ (オスプレイの厚木基地への飛来関連情報) からご確認いただけますようお願いいたします。</p>
8月20日	<p>神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）構成県市より県副知事及び海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市の副市長等が国に対し、基地問題に関する要望書を持参し、要請活動を行いました。</p> <p>【要請内容】</p> <p>(1) 米軍基地の整理・縮小・早期返還について (2) 厚木基地における航空機騒音の解消について (3) 米国原子力艦の事故による原子力災害対策の強化充実について (4) 日米地位協定の見直し及び運用の適切な改善について (5) 住宅防音工事等、騒音対策の充実について (6) 国による財政的措置及び各種支援策の充実について</p> <p>【要請先】</p> <p>外務省、防衛省、内閣官房、内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、環境省、原子力規制庁</p>
9月2日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ジョージ・ワシントンが9月2日（火）午前9時00分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
11月6日	<p>厚木基地騒音対策協議会（神奈川県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、座間市、綾瀬市、東京都町田市で構成）で厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離発着訓練による航空機騒音の解消等に関する要請を行いました。</p> <p>【要請先】</p> <p>内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、防衛大臣、駐日米国大使、在日米軍司令官、第7艦隊司令官、在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官、第5空母航空団司令官</p>
11月25日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ジョージ・ワシントンが11月25日（火）午前8時38分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>